

第2章 JR藤森地区道路特定事業の整備方針

2.1 生活関連経路

旅客施設を含む生活関連施設相互間を結ぶ道路のうち、特に重点的にバリアフリー化を図るべき「生活関連経路」を図2.1のように設定しました。

図2.1 JR藤森地区のバリアフリー化事業を行う経路位置図



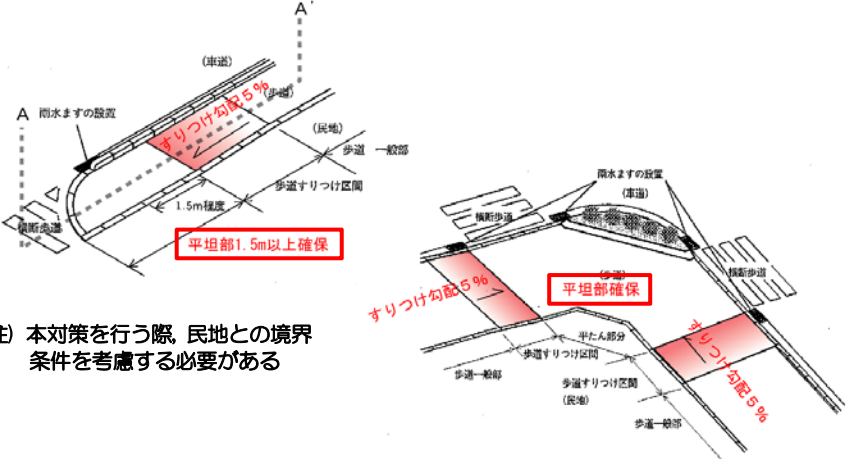
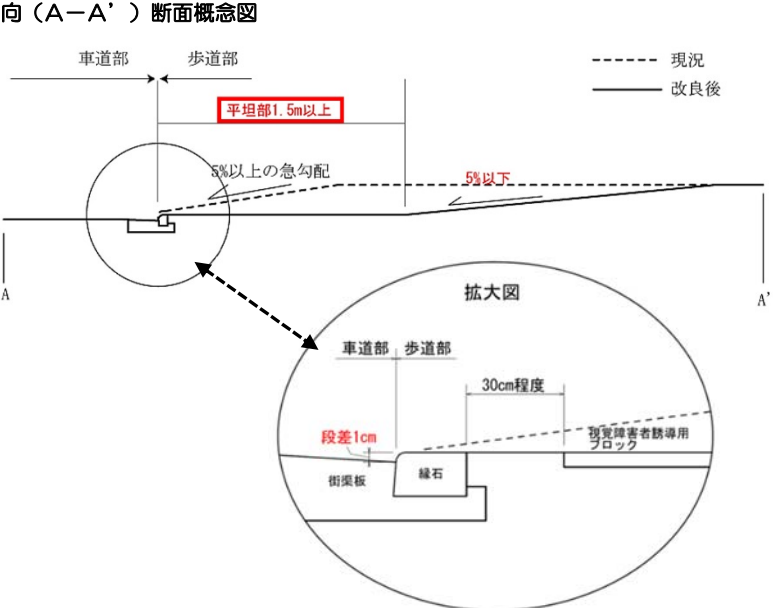
2. 2 具体的なバリアフリー事業の方針

生活関連経路で、移動等円滑化整備ガイドラインを満たしていない箇所について、その対策案を表2. 1に示します。

表2. 1 対策案一覧及び対策手法の概要

対象箇所	対策案・対策手法						
2.2.1 横断歩道接続部等	<p>対策A：段差・勾配の改良</p> <table border="1" data-bbox="638 573 1442 840"> <tr> <td data-bbox="638 573 766 705">対策A1</td> <td data-bbox="767 573 1442 705"> <ul style="list-style-type: none"> 横断歩道と接続する部分に平坦部を確保する すりつけのための縦断勾配を5%(8%)以下にする 歩道と車道の段差が1cmとなる縁石を設置する </td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 707 766 840">対策A2</td> <td data-bbox="767 707 1442 840"> <ul style="list-style-type: none"> 歩道の民地側に平坦部を確保する 車道へのすりつけ勾配を小さくするため、歩道と車道の境界には、表面に勾配のある特殊縁石を設置する </td> </tr> </table> <p>※対策A1を適用することが困難(現況の段差・勾配が大きい場合、民地・車道の改良が困難)な場合には、対策A2を適用する</p>	対策A1	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道と接続する部分に平坦部を確保する すりつけのための縦断勾配を5%(8%)以下にする 歩道と車道の段差が1cmとなる縁石を設置する 	対策A2	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の民地側に平坦部を確保する 車道へのすりつけ勾配を小さくするため、歩道と車道の境界には、表面に勾配のある特殊縁石を設置する 		
対策A1	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道と接続する部分に平坦部を確保する すりつけのための縦断勾配を5%(8%)以下にする 歩道と車道の段差が1cmとなる縁石を設置する 						
対策A2	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の民地側に平坦部を確保する 車道へのすりつけ勾配を小さくするため、歩道と車道の境界には、表面に勾配のある特殊縁石を設置する 						
2.2.2 歩道一般部・車両乗入部等	<p>対策B：横断勾配の改良, 段差・不陸の改良, 波うち歩道の改良</p> <table border="1" data-bbox="638 1012 1442 1227"> <tr> <td data-bbox="638 1012 766 1059">対策B1</td> <td data-bbox="767 1012 1442 1059"> <ul style="list-style-type: none"> 横方向の勾配がきつい場所を緩やか(1%(2%)以下)にする </td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1061 766 1149">対策B2</td> <td data-bbox="767 1061 1442 1149"> <ul style="list-style-type: none"> 歩道内にある段差を平坦にする 歩道部の凸凹(舗装不陸, 水路不陸等)を平坦にする </td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1151 766 1227">対策B3</td> <td data-bbox="767 1151 1442 1227"> <ul style="list-style-type: none"> 歩道の車両が乗入れる部分の民地側に平坦部を確保する(すりつけ横断勾配は1.5%以下) </td> </tr> </table> <p>※対策B1, B2は歩道の一般部で用いる。また、対策B3は歩道の車両が乗入れる部分で用いる</p>	対策B1	<ul style="list-style-type: none"> 横方向の勾配がきつい場所を緩やか(1%(2%)以下)にする 	対策B2	<ul style="list-style-type: none"> 歩道内にある段差を平坦にする 歩道部の凸凹(舗装不陸, 水路不陸等)を平坦にする 	対策B3	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の車両が乗入れる部分の民地側に平坦部を確保する(すりつけ横断勾配は1.5%以下)
対策B1	<ul style="list-style-type: none"> 横方向の勾配がきつい場所を緩やか(1%(2%)以下)にする 						
対策B2	<ul style="list-style-type: none"> 歩道内にある段差を平坦にする 歩道部の凸凹(舗装不陸, 水路不陸等)を平坦にする 						
対策B3	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の車両が乗入れる部分の民地側に平坦部を確保する(すりつけ横断勾配は1.5%以下) 						
2.2.3 歩車道境界部	<p>対策C：誘導施設・安全施設等の設置及び改良</p> <table border="1" data-bbox="638 1393 1442 1491"> <tr> <td data-bbox="638 1393 766 1440">対策C1</td> <td data-bbox="767 1393 1442 1440"> <ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1442 766 1491">対策C2</td> <td data-bbox="767 1442 1442 1491"> <ul style="list-style-type: none"> 安全施設(車両防護柵, 横断防止柵等)の設置及び改良 </td> </tr> </table>	対策C1	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良 	対策C2	<ul style="list-style-type: none"> 安全施設(車両防護柵, 横断防止柵等)の設置及び改良 		
対策C1	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良 						
対策C2	<ul style="list-style-type: none"> 安全施設(車両防護柵, 横断防止柵等)の設置及び改良 						
2.2.4 歩道のない道路	<p>対策D：歩行空間の明確化</p>						
2.2.5 道路付属物等	<p>対策E：側溝蓋・グレーチングの改良, 縁石の改修</p>						
2.2.6 歩道の拡幅, 支障物の撤去及び移設	<p>対策F：歩道の拡幅, 支障物の撤去及び移設</p> <table border="1" data-bbox="638 1823 1442 1921"> <tr> <td data-bbox="638 1823 766 1870">対策F1</td> <td data-bbox="767 1823 1442 1870"> <ul style="list-style-type: none"> 歩道拡幅の検討 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1872 766 1921">対策F2</td> <td data-bbox="767 1872 1442 1921"> <ul style="list-style-type: none"> 支障物(電柱, 街灯等)の撤去及び移設の検討 </td> </tr> </table>	対策F1	<ul style="list-style-type: none"> 歩道拡幅の検討 	対策F2	<ul style="list-style-type: none"> 支障物(電柱, 街灯等)の撤去及び移設の検討 		
対策F1	<ul style="list-style-type: none"> 歩道拡幅の検討 						
対策F2	<ul style="list-style-type: none"> 支障物(電柱, 街灯等)の撤去及び移設の検討 						


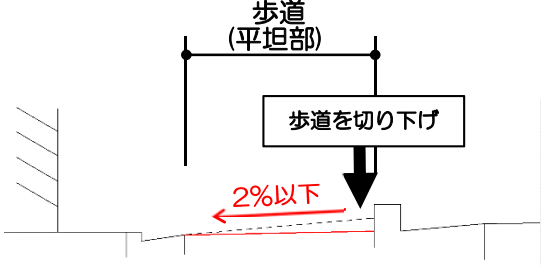
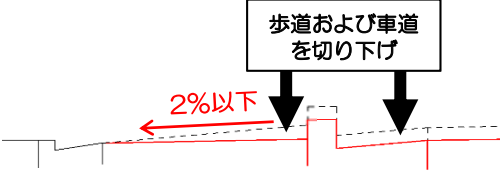
2. 2. 1 横断歩道接続部等におけるバリアフリー事業方針


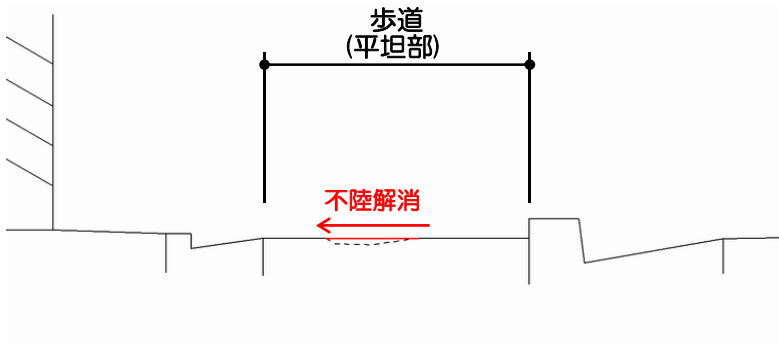
対策案	対策 A1
箇所	横断歩道接続部等 市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 (生活関連経路②，③)
課題	<ul style="list-style-type: none"> 縦断勾配 5%(8%) 超 ※()は地形の状況その他特別な理由によりやむを得ない場合の特例値 横断勾配 1%(2%) 超 ※透水性舗装の場合は 1%，非透水性舗装の場合は 2% 段差 1cm 以上
対策	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の改良(横断歩道接続部に平坦部を確保する。すりつけ勾配は 5%以下とする(歩車道境界は段差 1cm の縁石を用いる)
イメージ	 <p>注) 本対策を行う際、民地との境界条件を考慮する必要がある</p>
標準的な考え方	<p>交差点縦断方向 (A-A') 断面概念図</p>  <p>--- 現況 — 改良後</p> <p>拡大図</p> <p>車道部 歩道部</p> <p>30cm程度</p> <p>段差 1cm</p> <p>街乗板 縁石</p> <p>視覚障害者誘導用ブロック</p>



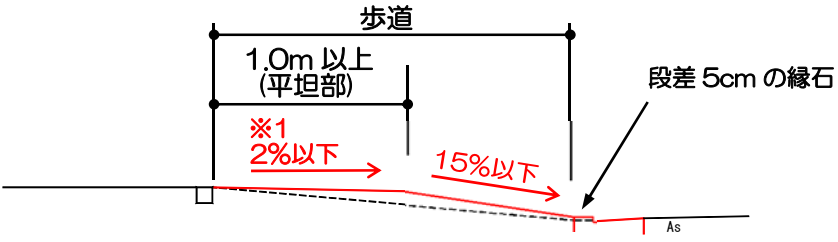
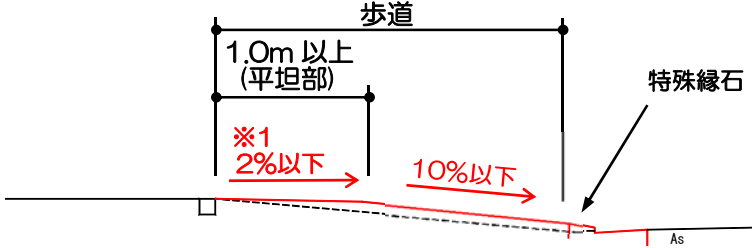
対策案	対策 A2
箇所	横断歩道接続部等 市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 (生活関連経路②，③)
課題	<ul style="list-style-type: none"> 縦断勾配 5%(8%) 超 ※()は地形の状況その他特別な理由によりやむを得ない場合の特例値 横断勾配 1%(2%) 超 ※透水性舗装の場合は 1%，非透水性舗装の場合は 2% 段差 1cm 以上
対策	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の改良(横断歩道接続部に平坦部を確保できない場合は，平坦部を民地側に確保する) すりつけ勾配を小さくするため歩車道境界に特殊縁石を用いる
イメージ	
標準的な考え方	<p>交差点横断方向 (A-A') 断面概念図</p>

(注) 本対策は，対策 A1 を適応することが困難 (現況の段差・勾配が大きいうえ，民地・車道の改良が困難) な場合の改善策。



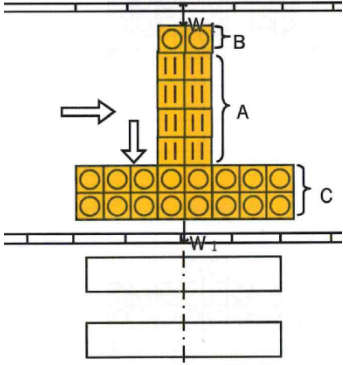
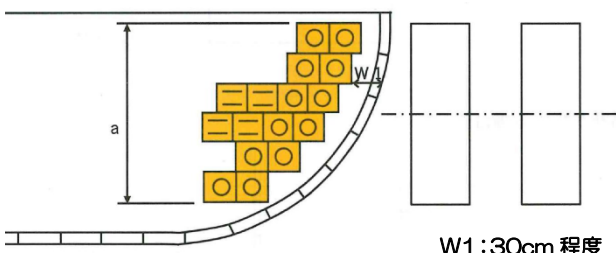
2. 2. 2 歩道一般部・車両乗入部等におけるバリアフリー事業方針





対策案	対策 B1
箇所	歩道一般部 市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 (生活関連経路②，③)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・横断勾配がきつい ・歩道が波うって歩いて歩きにくい
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・横断勾配が急な箇所においては，歩道に平坦部(2%以下)を確保する
イメージ	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 民地高さは 現状のまま </div>  </div>
標準的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・横断勾配が急な箇所における歩道の改良 【歩道の切り下げ】  <ul style="list-style-type: none"> 【歩道および車道の切り下げ】(民地と車道の高低差が大きい場合) 

対策案	対策 B2
箇所	歩道一般部 市道 本町通（生活関連経路②）
課題	<ul style="list-style-type: none"> 歩道に段差がある 歩道が凸凹している
対策	<ul style="list-style-type: none"> 歩道内の段差, 不陸を解消する
イメージ	 <p data-bbox="826 1055 943 1088">現況写真</p>
標準的な考え方	

対策案	対策 B3
箇所	車両乗入部 市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 (生活関連経路②，③)
課題	<ul style="list-style-type: none"> 横断勾配がきつい 平坦部がない
対策	<ul style="list-style-type: none"> 横断勾配がきつい箇所，平坦部がない箇所において，歩道の民地側に平坦部(透水性舗装の場合 1%，非透水性舗装の場合 2%)を 1.0m 以上確保する すりつけ勾配は 15%以下とする
イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>現況写真</p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="text-align: center;">  <p>改良イメージ</p> </div> </div>
標準的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 横断勾配が急な箇所における歩道の改良  <ul style="list-style-type: none"> 特殊縁石を用いて横断勾配が急な箇所における歩道の改良  <p style="text-align: center;">※1 透水性舗装の場合 1%，非透水性舗装の場合 2%</p>

2. 2. 3 歩車道境界部におけるバリアフリー事業方針







対策案	対策 C1
箇所	横断歩道接続部，歩道巻き込み部等 市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 (生活関連経路②，③)
課題	・歩車道境界の識別
対策	・視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良(JIS 規格化や配置変更など)
イメージ	<p>・視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  ➡  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>現況写真</p> <p>改良イメージ(JIS 規格化)</p> </div>
標準的な考え方	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【横断歩道口の設置例】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【歩道巻き込み部誘導ブロック設置の標準図】</p>  <p>W1 : 30cm 程度</p> </div> </div> <p>注) 横断歩道の有無に関わらず歩道巻き込み部には視覚障害者誘導用ブロックを設置する。</p>

対策案	対策 C2
箇所	歩道一般部 市道 本町通，市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 (生活関連経路②，③)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコーンが歩行者の障害となっている(市道 本町通 伏見街道第四橋) ・転落防止柵の手すりが 1 段手すりである(市道 深草緯 112-1 号線 JR 藤森駅前)
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコーンを適切な位置に移設する ・手すりを 2 段手すりに改良する
イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコーン, 手すり等の移設および改良 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>現況写真</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>改良イメージ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>現況写真</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>改良イメージ</p> </div> </div>


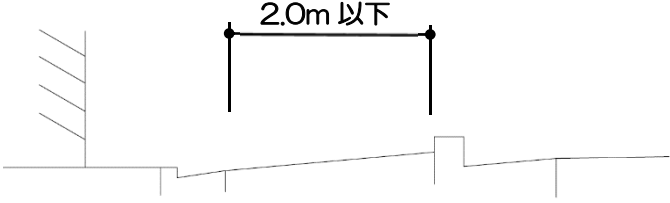
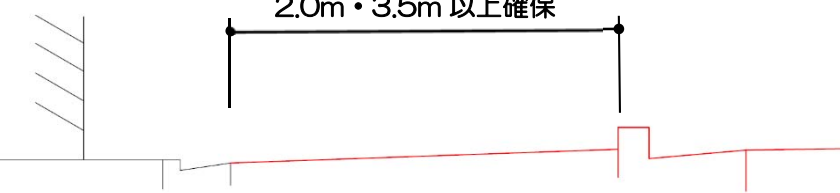
2. 2. 4 歩道のない道路におけるバリアフリー事業方針

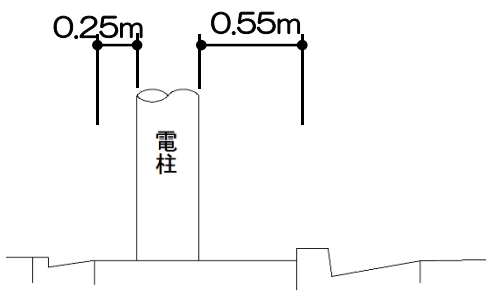

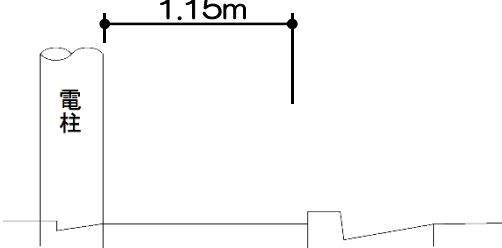
対策案	対策 D
箇所	市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 市道 墨染町通，市道 六地藏竹田線，市道 深草経 67 号線 市道 深草緯 156 号線 (生活関連経路②，③，④，⑤，⑥)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道がない ・歩行者の通行スペースが明確でない
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の明確化
イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・路面標示を移動及び設置する ・路側帯等にカラー舗装等を施し，歩行空間の明確化を図る <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>現況写真</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>路側帯のカラー化</p> </div> </div>

2. 2. 5 道路付属物等におけるバリアフリー事業方針

対策案	対策 E
箇所	市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線 市道 墨染町通，市道 六地藏竹田線，市道 深草経 67 号線 市道 深草緯 156 号線 （生活関連経路②，③，④，⑤，⑥）
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝蓋がガタついている ・歩行者通行部のグレーチングの網目が粗い ・縁石の配置が不適切，老朽化している
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝蓋の改良及び暗渠化 ・細目のグレーチング等へ改良 ・縁石の改良
イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>側溝蓋改良 ⇒</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>細目グレーチング へ改良 ⇒</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>縁石改良 ⇒</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 現況写真 改良イメージ </div>







2. 2. 6 歩道の拡幅, 支障物の撤去及び移設におけるバリアフリー事業方針

対策案	対策 F1
箇所	歩道一般部, 車両乗入部等 市道 深草緯 112 号線, 市道深草緯 112-1 号線 (生活関連経路③)
課題	・歩道が狭い
対策	・歩道の有効幅員 (2.0m・3.5m ^{※1}) を確保
イメージ	 <p>現況写真</p> <p>改良イメージ</p> <p>※1) 歩行者交通量 1,000 人/日以上の場合 ただし, 地形上やむを得ない場合を除く</p>
標準的な考え方	<p>【現況】</p>  <p>2.0m 以下</p> <p>【改良後】</p>  <p>2.0m・3.5m 以上確保</p>

対策案	対策 F2
箇所	<p>歩道一般部，車両乗入部，路側帯等</p> <p>市道 本町通・市道 深草緯 112 号線，市道 深草緯 112-1 号線</p> <p>市道 墨染町通，市道 六地藏竹田線，市道 深草経 67 号線</p> <p>市道 深草緯 156 号線</p> <p>(生活関連経路②，③，④，⑤，⑥)</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> 電柱や街灯等が通行の支障となっている
対策	<ul style="list-style-type: none"> 支障物（電柱，街灯等）の撤去及び移設の検討
イメージ	<p>【現況】</p>  <p>電柱</p>  <p>生活関連経路②の歩道</p> <p>【改良後】</p>  <p>電柱</p>

2. 3 整備目標年次

表2. 2 道路特定事業の概要

経路	路線	事業内容	目標年次						
			H26	27	28	29	30	31	32～
生活関連経路①	主要府道 大津淀線(大岩街道)	段差・勾配の改良	 ※1						
生活関連経路②	一般市道 本町通	段差・勾配の改良							
生活関連経路③	一般市道 深草緯 112号線 一般市道 深草緯 112-1号線	歩行空間の明確化							
生活関連経路④	一般市道 墨染町通 一般市道 六地藏竹田線 (墨染通)	歩行空間の明確化							
生活関連経路⑤	一般市道 深草経 67号線								
生活関連経路⑥	一般市道 深草緯 156号線								

※1 京阪藤森地区バリアフリー移動等円滑化基本構想に基づき整備済み。

但し、整備目標年次は、現時点での目標を示したものであり、今後の財政状況や事業の進捗状況により変更することがあります。